

資料 第4章 現状と課題

名勝三保松原では、平成 20 年（2008 年）に設置した名勝三保松原保全育成連絡協議会が、地域の意見や要望を行政に届ける場となっていた。また、平成 25 年（2013 年）の世界遺産登録前後からは、羽衣公園の整備、ガイダンス施設の整備、保全活用計画の策定、三保宮方の丘公園の整備、御穂神社門前の道整備、そしてこの保存活用計画の策定にあたり、自治会やボランティア団体の関係者等が参加するワークショップを開催してきた。それらで寄せられた意見、課題と取り組み状況、対応する個別事業を下表に示す。

【名勝全域 / 保全 / 松原】

※年は全て西暦、年度

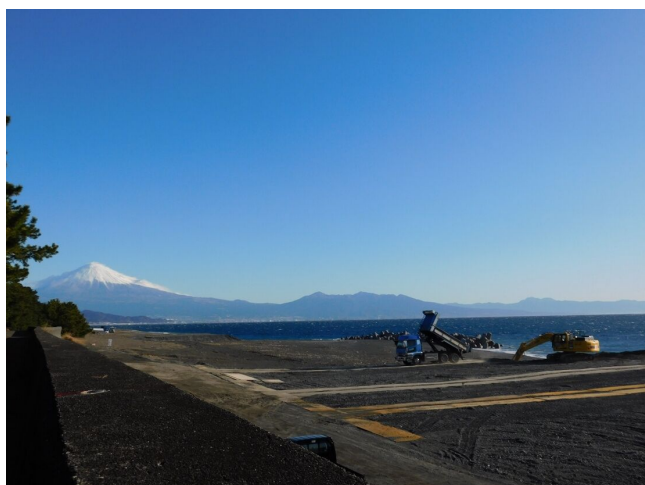
過去 10 年の課題・要望	2024 年時点での取り組み状況	関連する事業
・ 松原保全事業の方針決定の体制づくり	・ 三保松原保全実行委員会での松原保全方針決定（2020～2022） ・ （一財）三保松原保全研究所を中心とした体制による松原保全方針決定（2019～）	・ 三保松原の松林保全技術支援事業
・ マツ材線虫病対策の徹底	・ 伐倒駆除、薬剤散布、樹幹注入による防除の継続（1971～） ・ マツ材線虫病被害 1 本/ha 未満の微害化状態の維持（2017～）	・ マツ材線虫病対策事業（県有林以外・県有林）
・ 三保由来のマツ苗でのマツの更新	・ 圃場の運用（2021～）	・ 三保松原保全再生化事業
・ 私有林、市有林、県有林、国有地が入り組んでいる松原のマツの所在、所有者を明らかにし、保全活用しやすくする。 ・ 土地所有者による、マツ管理責任（マツの管理ルール、マナー）の理解促進。 ・ 民有地マツの管理の費用負担制度。 ・ 所有者と使用者が異なる土地のマツの管理。	・ マツ生育状況調査、所有者調査（2013～2015） ・ 土地データベース（内部用）作成（2015） ・ 松林管理アプリ「三保まつしらべ」運用（2019～）	・ 三保松原総合調整事業
・ 三保松原全域の保全活動を統括する仕組みづくり。ニーズに応じた保全活動のサポート。 ・ 保全活動における高齢化、後継者不足対策としての、若者や学生、企業、子育て世代などへの新規参加の促進。 ・ 活動状況の把握が困難で、活動エリアに偏りがある。必要とされている活動（需要）と実施した活動（供給）のリアルタイムでの見える化。 ・ 他の松原に倣った、いつでも誰でも保全活動できる環境（保全活動に使う道具を松原内に常設）づくり。 ・ 自治会防災倉庫等の合鍵を作り、いつでも誰でも保全活動できる環境づくり。 ・ 民有地でボランティアが活動できる体制づくり。	・ 自治会等による保全活動の継続 ・ みほしるべでの、年中無休のボランティア受付、活動エリア調整、道具貸出、ボランティア保険加入、ゴミ回収手続き、参加者数集計（2019～）ボランティア証明書発行（2021～） ・ みほしるべからのボランティア情報発信（公式サイトイベントカレンダー、みほしるべ SNS、ここからネット、デジタルサイネージ）（2019～） ・ みほしるべ市民活動スペースでの情報共有（2020～） ・ 学生向け研究アワード（2018～2019） ・ 親子向け保全講座（2020～） ・ 学校や民間企業からの、活動に用いる物品の寄附受け入れ（2019～）	・ 三保松原保全活動支援事業

【名勝全域 / 保全 / 砂浜】

過去 10 年の課題・要望	2024 年時点での取り組み状況	関連する事業
・ 砂浜の雑木や外来植物の駆除 ・ 養浜（台風での高潮・侵食が不安なので消波ブロックの増設を希望。）	・ 海岸侵食対策事業（1989～）	・ 清水海岸保全事業 ・ 侵食対策事業

【名勝全域 / 保全 / 富士山への眺望】

過去 10 年の課題・要望	2024 年時点での取り組み状況	関連する事業
・ 消波ブロックから新堤への置き換えによる富士山への景観改善 ・ 景観改善事業の認知度向上 ・ 砂浜の不法投棄ゴミの撤去 ・ 砂浜の流木の撤去 ・ 工事と観光の両立	・ 景観改善事業（2013～）、1 号新堤の完成（2018）、2 号新堤の設置（2024～） ・ 内浜での、県清水港管理局と三保内浜コンソーシアムが連携した、不法投棄ゴミや雑木、外来種駆除（2024～） ・ 県土木事務所が管理する外浜での、不法投棄ゴミの撤去や雑木等の駆除については、今後地域と連携して取り組む予定。	・ 清水海岸（三保地区）の景観改善



養浜工事



1 号新堤



浜地に放置されている物



富士山の眺望と浜地の草

【名勝全域 / 保全 / 羽衣伝説につながる御穂神社、神の道、羽衣の松】

過去 10 年の課題・要望	2024 年時点での取り組み状況	関連する事業
・特に名勝の核心に近い場所での、景観形成の方針から逸脱した奇抜な色彩の建物や看板の抑制。	・景観計画重点地区への指定 (2019) ・静岡市景観計画の改訂 (2020)	・三保半島景観形成事業

【名勝全域 / 活用 / 情報発信】

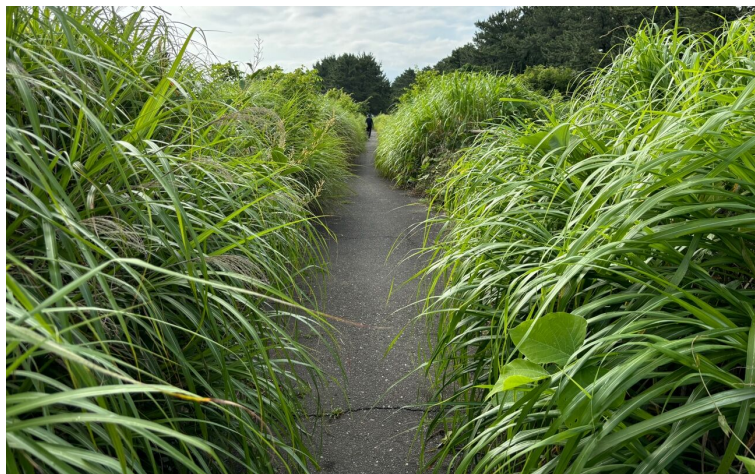
過去 10 年の課題・要望	2024 年時点での取り組み状況	関連する事業
・三保松原の魅力の発信、それによる転入者の増加 ・松原保全情報の共有 ・行政から企業への協力要請	・講演会、出前講座の実施 (2013～) ・写真コンテストの開催 (民間 2019、市 2023) ・みほしるべの運営 (2018～) ・三保松原公式 HP の運用 (2018～) ・みほしるべ公式 SNS (X, Facebook, YouTube) の運用 (2020～) ・訴求力のある清水エスパルスや清水区広報キャラクターシズラと連携した情報発信 (2019～) ・他の構成資産、世界文化遺産、日本遺産構成要素、観光スポット、名勝松原と連携した情報発信 (2021～) ・活動団体からの情報発信 ・地域企業との連携 (2019～)	・三保松原保全啓発事業
・地域住民の三保松原に対する関心向上、郷土愛の醸成。 ・近隣の子どもたちへの、砂浜や松原を訪れる機会、海の危険性や安全に遊ぶ方法を学ぶ機会の提供。	・清水五中での能「羽衣」の学習 (1999～) ・清水三保第一小学校、清水三保第二小学校、東海大学付属静岡翔洋小中高等学校、清水南中高等学校での松原保全や魅力発信の取り組み ・キャンドルナイト (民間 2013～2019、2023) ・工作体験や子ども向けの保全イベント (市・民間 2019～)	・三保松原キャンドルナイト「あかり ともるよる」



エスパルスと連携した保全イベント

【名勝全域 / 活用 / 誘客】

過去 10 年の課題・要望	2024 年時点での取り組み状況	関連する事業
・観光客への、名勝の価値の理解と保全活動への参加促進（グリーンツーリズムの推進） ・松原を活かした保全活動以外のアクティビティの発掘 ・松以外の観光コンテンツの発掘 ・民間観光施設の状況把握（観光業組織の不存在）	・保全活動モニターツアーの実施（2019, 2020） ・教育旅行、社員旅行の保全活動の受け入れ（2019～）	・三保松原保全活動支援事業
・おもてなしのための観光トイレの美化。 ・観光ゴミの持ち帰りの徹底。 ・焚き火や給餌等の迷惑行為の禁止の徹底。	・観光トイレ等の新設・改修：観光バス駐車場（2014）、真崎・鎌ヶ崎（2014）、みほしるべ（2018）、五中裏（2019） ・観光トイレ等の撤去：清水灯台（2016）、羽衣（2018）、八木自転車道（2022） ・観光ゴミ持ち帰ろう掲示（2019）	・三保半島観光トイレ維持管理事業
・わかりやすい眺望地案内（看板を設置できない場所での案内） ・案内の多言語化、デジタル化（将来的には、実体のある看板はすべて撤去し、情報はバーチャルで提供） ・三保棧橋での多言語案内 ・古い看板の更新、撤去、管理者の明示	・多言語看板の更新・新設（2019） ・多言語音声ガイドの運用（民間 2017～、市 2019～） ・羽衣の松、羽衣の碑多言語看板の仮設（2020～） ・みほしるべ周辺マップの公開・配布（2020～）、多言語化（2024） ・歌碑の更新（民間 2018）	・三保半島観光施設維持管理事業 ・三保松原文化創造センター管理運営事業
・駅から三保松原までの公共交通機関アクセスの改善 ・三保松原と他の観光地とのアクセス改善 ・未利用駐車場の活用、ツアーバスとの連携 ・半島全域での FreeWiFi の整備 ・眺望を楽しみながら飲食できる場所の整備 ・自転車道の草刈り	・三保松原・日本平間の乗合タクシー実証実験（2023） ・三保半島マップの公開・配布（2016～）、お買い物マップの配布、周遊キャンペーンの実施（民間 2020） ・シェアサイクルの運用（2020～） ・観光バス乗降場の設置（2019）、バス停の新設（2020） ・みほしるべ（掲示、HP、SNS）での散策ルート紹介（2019～） ・みほしるべ周辺回遊イベントの実施（2020～）	・三保松原回遊性向上策事業 ・静岡市シェアサイクル事業パルクル ・清水海岸保全事業 ・道路維持管理事業



所管未定で
柵が隠れるほど草が繁茂する自転車道

【名勝全域 / 活用 / 地域の文化継承】

過去 10 年の課題・要望	2024 年時点での取り組み状況	関連する事業
・羽衣の舞の継承	・小中学生が担う舞人、大人が担う楽人を確保し、神事やイベントでの上演を継続 ・寄付金等により楽器や衣装を更新 ・外部講師による講座開催（2019 市主催）記録映像等の活用	・羽衣の舞保存会
・おもてなしのための観光ガイド養成。	・ボランティア団体によるツアーガイド（2013～） ・ガイド向け講座（民間 2014-2016,市 2018-2019, 民間 2024） ・ガイド支援システム運用（2019～）	・観光ボランティア養成支援事業 ・三保松原保全活動支援事業

【名勝全域 / 活用 / 名勝地内の資源利用】

過去 10 年の課題・要望	2024 年時点での取り組み状況	関連する事業
・保全活動で回収した松葉や間伐材等の活用 ・火災予防のための、堆積松葉を迅速に回収・活用する体制づくり（特に神の道） ・市有林で松葉を活用する際の申請手続きの簡略化と利用ルールの計画への掲載 ・松露の人工栽培やモビリティサービスなど、地域の産業・収益を生む仕組みづくり ・三保松原の歴史文化を活かした芸術イベントの実施	・松葉茶、松葉うどん、マツ突板製品、アロマミスト、松葉飴、松葉風呂、松葉の紙製品、着火剤への加工販売（民間 2012～） ・炙り焼き、クリスマス装飾等への利用（民間 2019～） ・みほしるべでの、松葉ペレットストーブの常設展示、ペレタイザーの体験展示（イベント時・事前予約時）（2018～） ・三保松原オリジナルグッズの企画・販売（民間・市 2018～） ・三保松原の歴史文化にちなんだ芸術イベント（民間 2013～）	・三保松原保全活動支援事業

【名勝全域 / 運営・体制】

過去 10 年の課題・要望	2024 年時点での取り組み状況	関連する事業
・みほしるべでの展示やインターネットだけでなく、紙媒体の配布による行政からの情報発信 ・地域や行政とつながりのない関係者からの意見収集	・名勝三保松原保全育成連絡協議会の、三保松原保全活用連絡会への再編（2024）	・三保松原総合調整事業



松を活かした商品

【真崎内浜エリア / 保全】

過去 10 年の課題・要望	2024 年時点での取り組み状況	関連する事業
・ 砂浜（自転車道含む）の不法投棄ゴミ、雑木や雑草の撤去による、かつての風景の復元 ・ 不足しているボランティアの補充 ・ 保全の拠点の新設または防災倉庫の共用 ・ 防潮堤上の東海自然歩道の維持管理	・ 内浜での、県清水港管理局と三保内浜コンソーシアムが連携した、不法投棄ゴミや雑木、外来種駆除（2023～） ・ 真崎海水浴場での定期的な海岸清掃ボランティア（民間 2013～）	・ 清水海岸保全事業

【真崎内浜エリア / 活用】

過去 10 年の課題・要望	2024 年時点での取り組み状況	関連する事業
・ 三保松原であることの案内板表記 ・ 真崎内浜エリアの三保松原としての価値や戦争の歴史・遺産の保存・発信と学校教育への活用 ・ 三保一小の校歌に謳われる真崎灯台（2016 年廃止）の歴史の発信 ・ 名勝標識の、立ち入り可能な場所への移設 ・ 路線バス、水上バスの本数増加、案内の多言語化 ・ 内浜のリゾート地活用、マリンスポーツと海水浴の安全な両立 ・ 真崎のビーチエントリーできるダイビングスポットとしてのアピール ・ マツカサウオの観光コンテンツ化 ・ 釣り堀、潮干狩り、地引網、キャンプ、プール等のニーズへの対応 ・ 東海自然歩道の活用（ウォーキングイベント等の開催） ・ 旧文化ランド駐車場の活用 ・ 三保半島のゲームを作りたい ・ 外灯及び人通りの少なさによる犯罪に対する不安感への対応	・ 三保棧橋周辺の整備（民間 2022～） ・ 教育旅行の受け入れ（民間 2021～）	・ 三保真崎グラウンドゴルフ場管理運営事業 ・ 三保内浜海水浴場維持管理事業



浜地のポート



内浜での砂浜と海を活かしたイベント

【吹合岬エリア / 保全】

過去 10 年の課題・要望	2024 年時点での取り組み状況	関連する事業
・ 清水三保海浜公園の公園愛護会の設立、地元住民用花壇の活用 ・ イベント開催時以外の日常的な公園利用者の増加、賑わい創出 ・ 農地及び周辺道路のマツの管理（管理責任の周知） ・ 産業廃棄物への対応 ・ 養浜工事と海浜植生の両立 ・ 希少な海浜植物（ハマボウ）の保護 ・ 急増する外来種（セイタカアワダチソウ、オオブタクサ、ダンチク、テッポウユリ等）やクズやイタドリなど三保の外から侵入した植物への対応	・ 清水三保海浜公園内及び周辺道路の定期的な松葉かき、草取り、植栽整備ボランティア（民間 2011～） ・ 清水三保海浜公園の共用（2016～） ・ 清水灯台の重要文化財指定、一般公開（2023～）	・ 公園・緑地帯管理事業 ・ 道路維持管理事業

【吹合岬エリア / 活用】

過去 10 年の課題・要望	2024 年時点での取り組み状況	関連する事業
・ 飛行場を活用したイベントの開催 ・ 清水灯台周辺の景観復元 ・ 地域住民による清水灯台の利活用 ・ 保全の拠点の新設または防災倉庫の共用 ・ 観光拠点の新設 ・ 国有浜地・堤・国有地の竹林雑木除去・草刈りによる散策可能な環境づくり ・ 認知度の低い眺望地（サイクリング・灯台）の周知 ・ 戦争の歴史・遺産の保存・発信 ・ 外灯と人通りの少なさによる犯罪に対する不安感への対応 ・ 未利用農地の学校教育への活用 ・ 農地と松を活かしたアクティビティ（ジップラインアスレチックや収穫体験等）の整備 ・ 三保半島の農業の魅力発信、ステークホルダーの協働による農業と観光の両立	・ 三保海浜マラソン（民間 2022～） ・ 三保飛行場利活用計画（2024～） ・ 吹合岬北側での定期的な海岸清掃ボランティア（民間 2013～） ・ 清水三保海浜公園内及び周辺道路の定期的な松葉かき、草取り、植栽整備ボランティア（民間 2011～） ・ 清水灯台の特別公開（国・市 2023～） ・ みほしるべ郷土史年表での三保の農業の歴史掲載（2018～） ・ みほしるべでの三保の農産物販売（民間 2019～）	・ 三保飛行場利活用事業



清水三保海浜公園での保全活動



清水灯台の一般公開

【大山エリア / 保全】

過去 10 年の課題・要望	2024 年時点での取り組み状況	関連する事業
・ 県有林でのマツ材線虫病防除の徹底 ・ 林帯幅の狭い県有林の保安林機能の強化 ・ 国有地、脱落地、堤の雑木（竹林）の管理、下刈 ・ 国有地（財務省）、脱落地（官有第三種等）、法定外公共物（堤）の土地の位置関係及び所管が不明 ・ 防潮堤外側（海岸保全区域）で大きく成長したマツの管理 ・ 海浜植生の復元 ・ 外来植物等（オオキンケイギク、ナルトサワギク、ケシ）の駆除 ・ 高潮による越波被害	・ 薬剤散布（1971～） ・ 県有林敷地 1.02ha 内の植樹、除伐の実施 ・ 県有林敷地 1.02ha 内の下刈年 2 回、松葉かき年 1 回の実施 ・ 県有林隣接堤の草刈（20～） ・ 大型土嚢による嵩上げ（県 2022） ・ 地元自治会による一斉清掃（2007～）	・ 清水県有防災林 マツ材線虫病対策事業 ・ 清水県有防災林 県単治山事業 ・ 侵食対策事業 ・ 清水海岸（三保地区）の景観改善



国有地（竹林）と脱落地



特定外来生物オオキンケイギクの群生

【大山エリア / 活用】

過去 10 年の課題・要望	2024 年時点での取り組み状況	関連する事業
・ 自転車道の美化 ・ 清水五中に隣接する松原（東海財務局管理）の教育活用の継続 ・ 都市計画道路の復活による松原へのアクセス改善 ・ トラックが走る砂浜の観光バスルート化 ・ 眺望の良さの周知	・ シニアクラブへの清掃依頼（2004 以前～） ・ みほしるべ（掲示、HP、YouTube）でのサイクリングルート紹介（2019～）	・ 三保半島観光施設維持管理事業 ・ 道路維持管理事業

【羽衣エリア / 保全】

過去 10 年の課題・要望	2024 年時点での取り組み状況	関連する事業
・消波ブロックの撤去 ・海浜植物（ハマゴウ、ハマネナシカズラ、ハマボウフウ、コウボウムギ、ハマヒルガオ、ケカモノハシ、ハマエンドウ、ツルナ等）の群落の維持 ・外来植物等（ナルトサワギク、オオキンケイギク、クズ、ワルナスビ等）の駆除	・海岸保全施設への指定（2023）	・清水海岸保全事業
・市有林東側の除伐 ・市有林西側の間伐 ・在来植物（カワラナデシコ、テリハノイバラ、トベラ、スミレ）の群落の維持 ・外来植物や園芸種（シンテッポウユリ、ケシ）の駆除	・下刈 ・市有林東側の除伐（2016, 2019） ・市有林西側の間伐（2018） ・企業による保全協力事業（2023～）	・三保市有林松原再生事業（下刈、間伐）
・羽衣の松周辺の来訪者増加による土壌の締め固まり（地中での固結層の形成） ・老齢大木の腐朽やシロアリの食害 ・マツを保護する立ち入り禁止エリアでの保全活動 ・立ち入り禁止による雑草の繁茂（景観悪化）	・羽衣の松周辺の老齢大木の保護のための通行ルート制限（2020～） ・フローに基づく樹木診断（2017～） ・地元企業と連携した年間通じての草取り（2022～）	・三保市有林・神の道リスク軽減事業（老齢大木樹勢回復、危険木対策）
・神の道の老齢大木の生育環境改善 ・宮方地区住民が一世代あたり年に約 2 回参加する月 2 回の神の道清掃の、負担平準化（参加住民の居住エリア拡張） ・神の道清掃への当番以外のボランティア参加受付	・木道整備（2008～） ・自治会への神の道清掃依頼、松葉の回収（2004 以前～） ・神の道への大型車進入制限（2013～） ・倒伏対策、腐朽対策、危険枝除去（2017～） ・フローに基づく樹木診断（2017～） ・危険木予防伐倒（2015～） ・代替マツ植栽（2020）	・三保半島観光施設維持管理事業 ・三保市有林・神の道リスク軽減事業（老齢大木樹勢回復、危険木対策）
・マツの生育環境改善のための異種樹木駆除	・異株樹木伐採（2015～）	・公園・緑地帯管理事業

【羽衣エリア / 活用】

過去 10 年の課題・要望	2024 年時点での取り組み状況	関連する事業
・三保松原の価値を伝える施設の設置	・みほしるべの開館（2018～） ・三保松原の価値や魅力、保全の大切さを年中無休で発信（2018～） ・クラウドファンディングを活かした三保松原の魅力の発信（民間 2020、2021）	・三保松原文化創造センター管理運営事業 ・羽衣ルネッサンス構想の提言と天のはごろもプロジェクト
・羽衣まつりの継承	・羽衣の松前よりみほしるべ前へ会場を移動（2021～） ・伯梁行列（～2017） ・薪能の観劇補助（2021～）	・羽衣まつり開催事業
・繁忙期の神の道渋滞による、近隣住民生活への支障 ・大晦日から元旦にかけての住宅街での大量の違法駐車による、近隣住民生活への支障 ・観光客に対する、羽衣公園駐車場やみほしるべ臨時駐車場のわかりやすい案内 ・交差点名称の改善（「三保松原入口」から「羽衣の松入口」へ）によるわかりやすい案内 ・定点外国語ガイドの整備（タクシートラブル対応）	・みほしるべ（チラシ配布、HP、YouTube）での駐車場案内（2019～） ・旧文化ランド駐車場からのシャトルバス送迎（民間 2024～）	・公園・緑地帯管理事業（羽衣、羽衣脇、天人森、羽衣東、清水三保海浜公園、宮方の丘、緑地帯等の除草） ・三保半島観光施設維持管理事業
・羽衣公園内の遊歩道整備 ・砂に埋もれない遊歩道・側溝、崩れない舗装の設計の検討	・崩れた遊歩道の修繕（2014～）	・三保半島観光施設維持管理事業

【折戸エリア / 保全】

過去 10 年の課題・要望	2024 年時点での取り組み状況	関連する事業
・羽衣海岸線植栽帯の美化 ・草丈の高い緑地帯へのゴミ投棄対策 ・保全の拠点の新設または防災倉庫の共用 ・植樹マツの見守り・維持管理の体制が必要 ・近隣の学校による美化活動、モデルガーデン ・海浜植生の復元 ・外来植物等（オオキンケイギク、ランタナ）の駆除	・例年 5 月に海岸清掃を実施 ・大学ゼミでの植栽管理（民間 2024～）	・三保羽衣海岸緑地整備事業 ・公園・緑地帯管理事業

【折戸エリア / 活用】

過去 10 年の課題・要望	2024 年時点での取り組み状況	関連する事業
・観光客による幹線道路渋滞の解消 ・観光客の狹隘道路進入の抑制 ・観光客への一時停止の明示 ・三保二小南側の老齢大木（名勝地外）による交通支障への対応	・国道 150 号線から東海大学静岡キャンパス部分までの羽衣海岸線開通予定（2025）	・羽衣海岸線整備事業

【名勝地外】

過去 10 年の課題・要望	2024 年時点での取り組み状況	関連する事業
・三保街道からの富士山の眺望を阻害する電線電柱の撤去	・折戸 3 工区～三保 1 工区の横断線撤去（2015）	・三保街道の景観向上事業及び街路事業
・日本平からの富士山、三保松原、清見寺の眺望の維持		



羽衣海岸線沿いの緑地帯



三保街道と電線



羽衣海岸線



折戸地区海岸一斉清掃